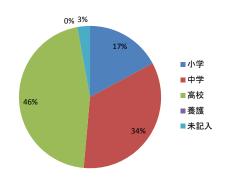
平成 23 年度教員免許状更新講習 8月12日立命館大学「環境と防災」アンケート集計結果

【受講者について】中高の教員が多かった。



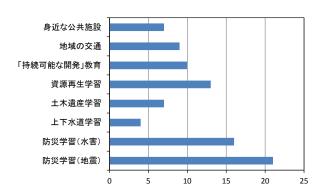


図1 受講者の学校

図2 受講者が今後受講したい講習内容(複数回答可)

【講習内容で評価できること(理解できたことなど)】

- ・ 川の砂防やダムについて西洋的発想から日本的発想(櫛型化)により被害の軽減と個人の防災意識
- 簡単な実験やわかりやすい説明でよかった
- ・ 実験等、視覚的なこと
- ・ 実験などを含めて解説していただいたことがわかりやすかった
- 自然災害のメカニズムなどがわかった
- ・ 液状化現象よくわかりました
- 専門外でもわかりやすかった
- ・ 土石流、液状化に関して具体的にそのメカニズムが理解できた
- 文系ですが、理系のことがよくわかった
- ・ 上水道の浄化のしくみ、砂防ダムの役割、堤防の役割
- ・水害への防災、液状化現象
- ・ 実際に目の前で実験をしながらだったので、理解しやすかったです
- ・ 実験がたくさんあったので分かりやすかった
- ・ 仕組みや取り組みを考えて行動する
- ・ 実験や体験型の講習で、免震やアーチ・トラス構造の強度、土石流、浄水の沈殿、液状化など楽しく分かりやすく学習できた
- 実験、演習が多くてよかった
- 全て実験を通して説明してもらったことで、自然の仕組みの驚異とそれへの心構えがとてもよくわかりやすかった。説明も丁寧で専門家でない私たちにもよく伝わった
- 実験やスライドを使っての説明がわかりやすかった
- ・ 櫛型砂防ダムのメカニズム、液状化現象の実験
- 液状化現象の体験、堤防の役割
- ・ 具体的な実験をもりこむなど工夫してくださった部分はわかりやすかったです
- ・ 土石流発生のメカニズムはよく分かりました。砂防ダムの必要性も十分理解できました。どの実験も大変工夫されてあり、文系の私に はきわめて新鮮でした
- ・ 琵琶湖疏水の社会基盤としての価値、防災教育の重要性、液状化について
- ・ 水害、土石流の発生と被害の様子が大変分かりやすかったです。地震に対する防災の概要も参考になりました。中学校で導入できる実験ばかりであることが何よりです。
- ・ 実験等があり、楽しく学ぶことができた
- ・ 防災に関して、今まで起こっていないから起こらないというような思い込みで行動しないこと
- 今の話題とあっていて興味が持ちやすかったこと
- ・ 実験を多く取り入れ、貴重な体験ができ、理解が深まったこと
- ・ 自然災害を完全になくすことは不可能なので、減らせるように研究や工夫が進んでいることを学べました
- ・ 実験を通して、講習内容の理解を図っていただいたこと、特に液状化現象は興味深かった
- ・ 中高生にもできそうな実験であったこと
- ・ 地震のための対策、土石流のしくみ、浄水場のしくみ、液状化現象について
- ・ 防災等の基礎知識がわかりやすく理解できた
- ・ 実際にその地域に住んでいる人が、自分の暮らしと社会とのつながりを意識しながら、どのような防災のしくみを作っていこうと考えるのか、その重要性がわかり、大変勉強になりました。

【内容で改善すべきこと(わかりにくかったことなど)】

- ・ 少し声が小さく聞き取れない授業があったので改善していただきたい
- 声も小さく聞き取れない
- 時間の制約等はあるとおもいますが、操作を含めていただけるといいと思います
- 時間が短い
- ・ 疎水を中心においたコンセプトにやや不満を感じた。あえて疎水を大テーマにしなくてもよいう感想をもった
- ・ より実践にどう近づけるかを示してほしかった
- ・リンの濃度がうまく違いを示さなかったのが残念でした
- 河川水のろ過のしくみは難しい
- ・ 理系教員以外の者にとっては専門的過ぎて理解しにくい場面が多くありました。専門的内容に絞るなら理系教員のみの受講にするか、 すべての教科対象とするならば、もう少し一般的な内容にし、揃えていただいたほうがよいのではと感じました
- ・ 凝集実験の実験結果が一つでなかったこと、防災訓練のあり方などを入れてほしい
- リンの反応が確かめたかった
- ・ マイクを使わない講義や実験で、一部聞き取りにくかったこと
- ・ 浄水場や液状化現象など、しくみはよく理解できたが、防災という観点でどのように子供たちへ返していけばいいのか悩んだ